

平成 30 年度

高齢者の交通安全指導員 情報交換会

11月8日（水） 滋賀県大津合同庁舎 7階7B会議室

平成 22 年度からクレフィール湖東で実施している「高齢者交通安全指導員養成講座」に参加し、その後、高齢者の交通安全指導員として登録して下さっている皆さん同士で「情報交換会」を開催しました。42名の方が出席して下さいました。

【第1部】講演 交通安全トークショー「高齢者の交通安全指導について」

講師：株式会社日本ユニバース観光 代表取締役 小山貴美夫様



「まさか！」「ここは大丈夫」という「思い込み」運転が危険であることなどの話を聞いたり、考えたりしながら、前向きに研修を受けていただきました。

☆「車が来そう」「自転車が来るかも」と注意することや、自動車や自転車の運転者、歩行者のそれぞれの立場で危険を予測しながら運転することが大切であることをお聞きしました。

☆一つのこと集中していると、他のことへの注意が不十分になることを参加者の方に体験していただきました。体験された参加者は、自分では「大丈夫」と思っていたとしても、実は不注意になっていたことに気づき、驚かれていました。



一方的な交通安全教育だけではなく、受講者のみなさんに危険行動や安全運転への意識を高めながら、学んでいただきました。

【第2部】グループ別 情報交換会

それぞれの所属団体や各地域の老人クラブ等で交通安全指導に携わっておられる皆さんに日頃気になっていることや各自の活動の様子について情報交換していただきました。どのグループも活発な意見交流ができ、大変有意義な時間になりました。

『情報交換会』を終えて みなさんのアンケートより

【講演について】

- 思い込み・油断・慣れなどは怖いと思った。
- 一番コワイのは、「思い込み」であることを実験されて、実際に見ることができた。
- 手品とユーモアななぞなぞを取り入れた講話は聴く人を退屈させることなく、交通安全活動、安全厳守事項の大切さを再認識する良い機会となり、参考となった。
- 思い込み運転、「…だろう運転」はしない。
- 地域での集まりで話をするときの参考にしたい。
- 話し方の手本を今日勉強できました。誠にありがとうございました。上手な話も大切だが、相手を引き込む話し方について自分も意識していきたいです。
- 交通事故への対応・処理方法についての説明は有効的だった。また、相手のことを考えて、交通安全に気をつけよう！！
- 普段忘れていたような何でもない事、思っていない事など、もう一度勉強させてもらいました。普段の確認後にさらにもう一度確認し、二度の周囲確認すること、また、自分を守ることや家庭を守る意識を持ち直しました。
- 自転車や自動車の話では、自分が運転しているときのことが思い出され、振り返りができた。
- 自分の運転を振り返ってみて、「思い込み運転」をしていることがあった。これが事故につながることに気付かされた。特に、慣れた道ほど注意をして安全運転に努めることが大切であることに気付かされた。
- 具体的な話で、楽しくおもしろく説明をされ、自動車や自転車の運転者・歩行者の各立場になって、日常の中で十分注意しなければと痛感した。
- いつも車が来ないからという慣れで注意を怠って、怖い思いをしたことがあり、よくわかりました。

【情報交換について】

- 他学区の方の意見を聞いて勉強になりました。
- 各市町でそれぞれの活動内容を知ることができた。自分が元気な限りは指導員を続けていきたいと思った。仲間がたくさんいることを知り、これからも交流をはかりたい。情報交換ができて、よかった。
- 地域ごとで活動は多種多様。我が地域で可能なことを持ち帰って、行動を起こしたい。
- 高齢者サロンへ行って、話をします！



※交通安全啓発用ビデオ・DVD等の教材の貸出しができます。ぜひ御活用ください。